

ハードウェア マニュアル

● 使い方に困ったとき
にお読み下さい

CONTENTS

CHAPTER 1 基本操作 3

- 1 ● キーボード 4
 - 外観／ 4
 - 各部の名称と機能／ 4
- 2 ● マウス 8
 - 各部の名称／ 8
 - マウスの基本操作／ 9
- 3 ● スピーカー 10
 - 外付アクティブスピーカー／ 10
 - 音量の調整／ 10
- 4 ● 光学ドライブ 11
 - ディスクを入れる・取り出す／ 11
 - 強制的にトレイを開く／ 12
- 5 ● カードリーダー 13
 - メディアの挿入方向／ 13
 - 3.5 インチベイ、カードリーダー各部の名称／ 14
 - メディアを入れる・取り出す／ 14

CHAPTER 2 各デバイスについて 15

- 1 ● 各デバイスの説明 16
 - オーディオ（音量の調整）／ 16
 - オーディオ（録音する）／ 17
 - USB2.0 / 19
 - USB3.0 / 19
 - ネットワーク / 20
 - VGA / 21
 - DVI / 21

CHAPTER 3 BIOS 設定 22

- 1 ● BIOS 設定について 23
 - BIOS 設定画面の起動／ 23
 - BIOS 実行キー／ 23
 - BIOS 設定の変更／ 24

ご使用になる前に必ずお読みください

■ 動作使用環境について

- ・ 本製品の使用環境は、温度 10℃～35℃、湿度 8%～80%を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 本製品の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、本製品内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。
- ・ 本製品は、日本国内でのみご使用ください。

■ HDD/SSD について

- ・ HDD/SSD は、一般的に消耗部品となっております。重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。
- ・ HDD/SSD に保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であっても弊社は保証いたしません。

■ 著作権・商標について

- ・ 著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本製品を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。
- ・ 著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- ・ 権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することは、著作権法上禁止されております。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記しておりません。

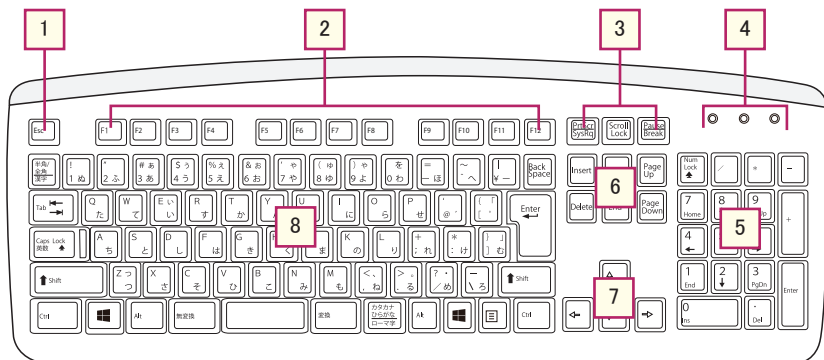
基本操作

1 ● キーボード	4
2 ● マウス	8
3 ● スピーカー	10
4 ● 光学ドライブ	11
5 ● カードリーダー	13

キーボード

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役割を持っています。ここでは、キーボードの各部名称と機能について説明しています。

外観



注意

キー配列や形状は、製品によって異なります。

各部の名称と機能

1 Esc (エスケープ) キー

設定の取り消しや、実行を中止するときに使用します。



2 ファンクションキー

アプリケーションや OS によって機能を割り当てることができます。



3 Prt Scr (プリントスクリーン) キー

画面のスクリーンショットを取るときに使用します。

Scroll Lock (スクロールロック) キー

画面のスクロールをロックするときに使用します。

Pause/Break (ポーズ / ブレイク) キー

操作を一時的に止めるときに使用します。



4

① NumLock ランプ

NumLock 有効時、点灯します。

② CapsLock ランプ

CapsLock 有効時、点灯します。

③ ScrollLock ランプ

ScrollLock 有効時、点灯します。



5

テンキー

NumLock キーを押し機能を有効にすることで数字キーとして使用することができます。

Num-Lock キーがオフの状態ではカーソルキーや

Home・End・PageUp・PageDown キーと同様の動作をします。



6

Insert (インサート) キー

文字の挿入 / 上書きを切り替えるときに使用します。

Delete (デリート) キー

カーソル直後の文字を削除します。

Home (ホーム) キー

カーソルを行の最初や文書の最初に移動させるときに使用します。

End (エンド) キー

カーソルを行の最後や文書の最後に移動させるときに使用します。

PageUp (ページアップ) キー

前のページに切り替えるときに使用します。

PageDown (ページダウン) キー

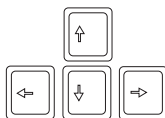
次のページに切り替えるときに使用します。



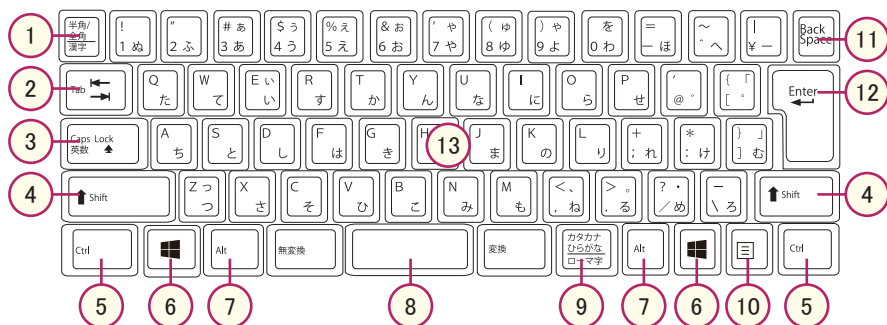
7

カーソルキー

カーソルを移動させるときなどに使用します。



8 特殊キー / 文字入力キー



1 半角 / 全角キー

日本語入力機能のオン・オフを切り替えます。

2 Tab キー

次の項目へカーソルを移動させます。【Shift】キーを押しながら【Tab】キー (Shift+Tab) を押すと、一つ前の項目へカーソルが移動します。文字入力時に押すと「タブ」が挿入され、カーソルが右へ移動します。

3 Caps Lock (キャプスロック) キー

入力する英字の大文字・小文字を切り替えます。【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キー (Shift+Caps Lock) を押すと、Caps Lock がオンになり、キーボード右上のランプが点灯します。解除するには同様の操作を行います。

4 Shift (シフト) キー

【Shift】キーを押しながら英字を入力すると、大文字・小文字が反転します。他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

5 Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

6 Windows (ウィンドウズ) キー

スタート画面の表示および、他のキーと組み合わせ特殊な操作が行えます。

7 Alt (オルト) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

8 スペースキー

空白の挿入や、文字変換などに使用します。

9 カタカナ / ひらがなキー

【Alt】キーを押しながら【カタカナ / ひらがな】キー (Alt+ カタカナ / ひらがな) を押すと、「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えることができます。

10 アプリケーションキー

マウスの右クリックに該当する機能があります。使用するアプリケーションにより動作は異なります。

11 Back Space (バックスペース) キー

カーソルの直前の文字を削除します。

12 Enter (エンター) キー

設定の決定や、アプリケーションの実行などに使用します。

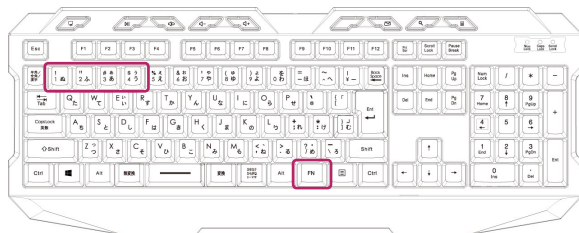
13 文字入力キー

アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。【Ctrl】【Alt】【Shift】キーなどと組み合わせて使用することにより、特殊な操作を行うことができます。

イルミネーションキーボードの輝度設定

イルミネーションキーボード (型番: NBO104U01BKB1) をご使用の場合、下記の操作によりキーボードバックライトの輝度 (明るさ) を変えることができます。

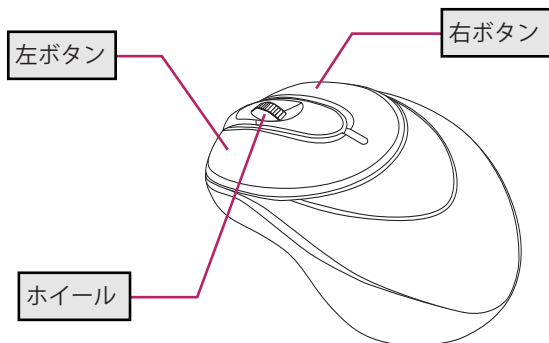
キー操作	キーボードバックライトの輝度
 + 	最も暗くなります。
 + 	中間の明るさになります。
 + 	最も明るくなります。
 + 	ゆっくりと点滅を繰り返します。



マウス

マウスの各部名称と使い方について説明しています。

各部の名称

 注意

マウス形状は、製品によって異なります。

※ 6 ボタンマウスをご使用の場合

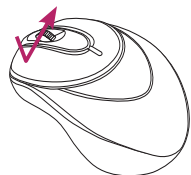
 注意

DPI 設定値は、製品によって異なります。

マウスの基本操作

1. クリック (シングルクリック)

左ボタンを素早く押して離します。



ワンポイント

一般に「クリック」とは左ボタンのクリックのことになります。
右ボタンのクリックは「右クリック」と呼びます。

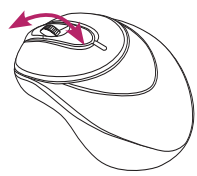
2. ダブルクリック

クリックを2回続けて行います。



3. スクロール

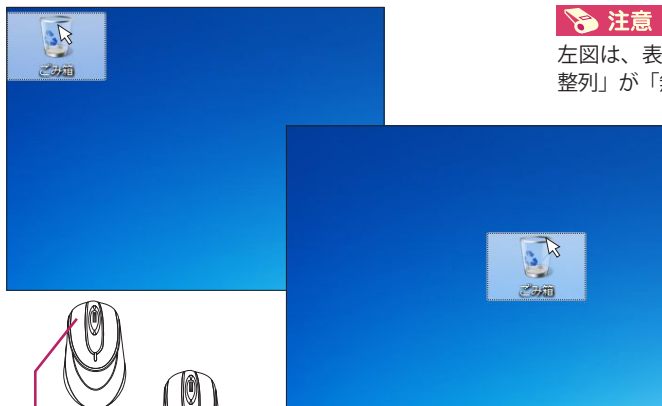
ホイールを上、または下方向に回転させます。



ワンポイント

製品によっては、左右のスクロール機能を持つマウスもあります。

4. ドラッグ&ドロップ



注意

左図は、表示設定の「アイコンの自動整列」が「無効」になっています。

左ボタンを押したままにして、

移動したい位置まで移動し、

左ボタンを離します。

スピーカー

スピーカー付属機種のみ

スピーカーのボリューム調整について説明しています。

外付アクティブスピーカー

1. 電源を入れ、音量を調整します。

**注意**

初回使用時、ボリュームが「大」に設定されていると、突然、大きな音が出てしまいます。ご注意ください。

注意

スピーカーによって操作方法は異なります。

電源ボタンを押します。

つまみを回します。

左に回す：音量を下げます

右に回す：音量を上げます

音量の調整

デスクトップ上のタスクトレイにある「スピーカー」アイコンをクリックすることで Windows 上で音量を調整することができます。

注意

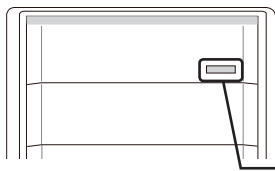
スピーカーアイコンに禁止を示すマークがついている場合は、ミュート（消音）に設定されています。

光学ドライブ

光学ドライブの扱い方を説明しています。

ディスクを入れる・取り出す

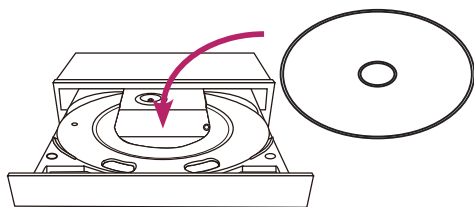
1. イジェクトボタンを押してトレイを出します。



イジェクトボタン

イジェクトボタンの位置については、同梱のファーストステップガイドをご確認ください。

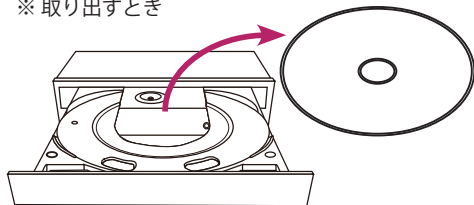
2. ディスクをトレイの中央に置きます。



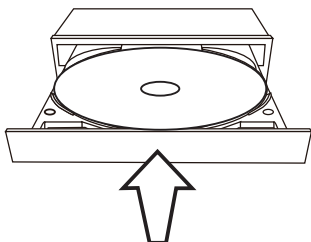
 注意

ディスクのデータ面(文字などが印刷されていない面)を下にしてください。
また、光学ドライブが縦向きに取り付けられている場合、ディスクがトレイから落ちないように、トレイの爪に引っかかるようにディスクをセットしてください。

※ 取り出すとき



3. トレイの前面を軽く押し込み、トレイを閉じます。



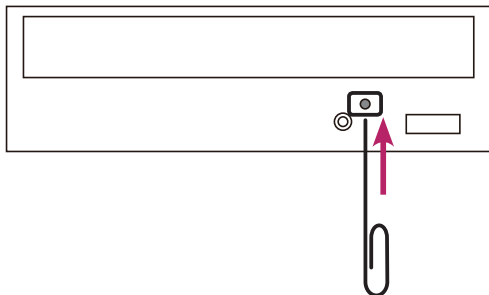
 ワンポイント

トレイを少し押し込むと、自動的に閉まります。

イジェクトボタンを押すことによってトレイを閉じることができます。

強制的にトレイを開く

1. 緊急イジェクトホールに伸ばしたクリップを挿し込みます。

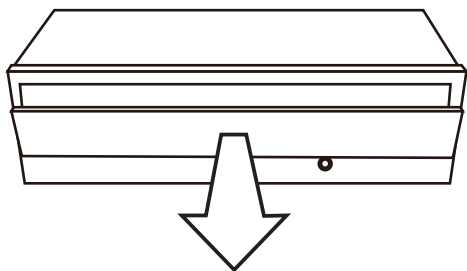


注意

必ずパソコンの電源を切ってから行ってください。また、緊急時以外はこの作業を行わないでください。製品およびディスクが破損する可能性があります。

※搭載されるドライブによって、緊急イジェクトホールの位置が異なります。

2. トレイが少し開いたら、手でトレイを引き出し、ディスクを取り出します。

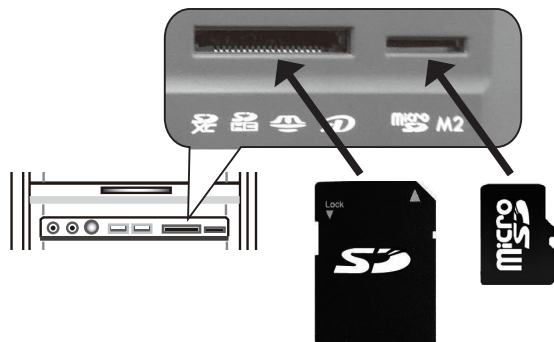


カードリーダー

カードリーダー
搭載機種のみ

カードリーダーの取り扱い方について説明しています。

メディアの挿入方向



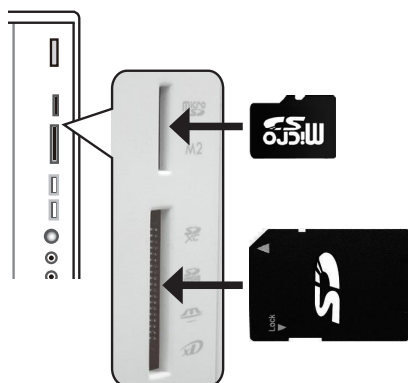
カードリーダーの形状は、製品によって異なります。

 注意

メディアを奥まで挿入できない場合、メディアの向きが上下逆さまの可能性あります。

 注意

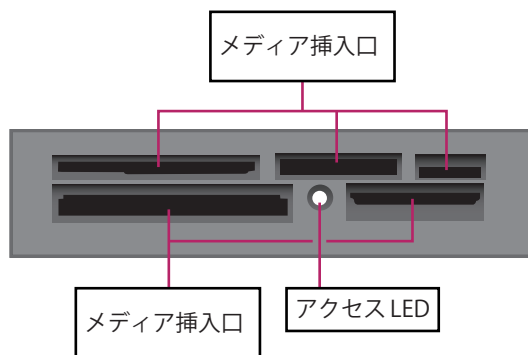
必ず、データの転送が完了してからカードを引き出してください。



※注意※

SDHC/SDXC カードも使用できますが、SDXC は SDHC 相当の転送速度で動作します。

3.5 インチベイ、カードリーダー各部の名称



カードリーダーの形状は、製品によって異なります。

注意

アクセス LED は、メディアの有無、データ転送に関わらず点灯・点滅することがあります。点灯・点滅は、製品の仕様であり、不具合ではございません。

注意

対応メディアは、搭載するカードリーダーにより異なります。

メディアを入れる・取り出す

1. メディアを挿入します。



スロット横に印字されているカードを正しいスロットに挿入してください

注意

メディアを奥まで挿入できない場合、メディアの向きが上下逆さまの可能性がありま

2. メディアを引き出して取り出します。



メディアを取り出すとき、画面右下のタスクトレイに表示される「ハードウェアの安全な取り外し」(デバイスの停止)を行う必要はありません。こちらの作業を行うと、カードリーダー自体を停止することになり、再度使用するには再起動が必要となります。

注意

必ずデータの転送が完了してから引き出してください(コピーや移動中の画面が消え、カードリーダーのアクセスランプが消灯するとデータ転送完了となります)。

各デバイスについて

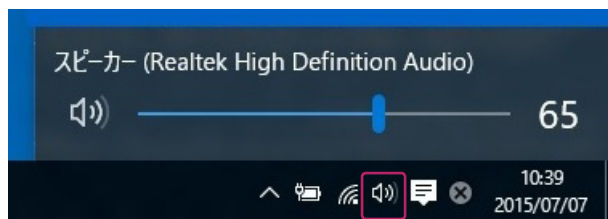
1 ● 各デバイスの説明	16
--------------------	----

各デバイスの説明

製品に搭載されている各種デバイスの説明をしています。

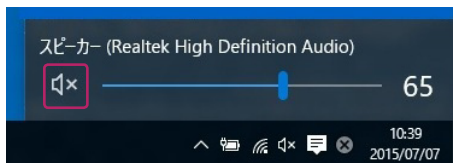
オーディオ（音量の調整）

1. デスクトップの画面右下、タスクトレイにある「スピーカー」アイコンをクリックします。

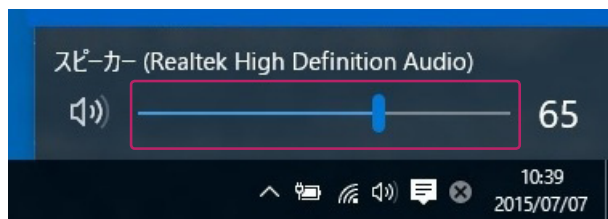


注意

スピーカーアイコンをクリックすると、ミュート（消音）に設定することができます。



2. 音量バーを左右に動かすことで音量を調節することができます。

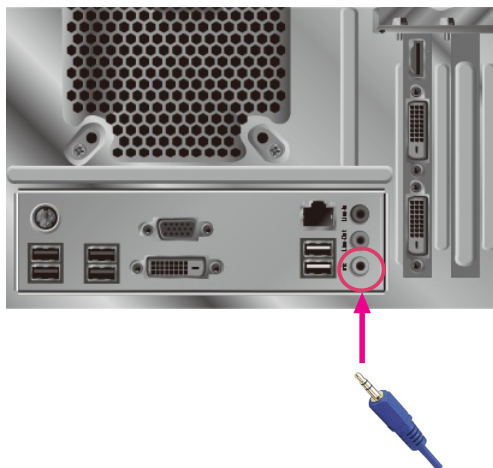


ワンポイント

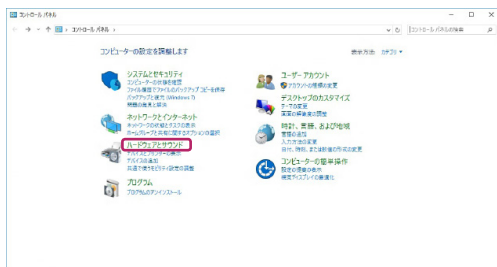
背面パネルの Line-out 端子にスピーカーを接続した状態で、フロントパネルのヘッドホン端子にヘッドホンを接続した場合、フロントに接続したヘッドホンの出力に切り替わります。

オーディオ（録音する）

1. マイクまたは外部機器を接続します。



2. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



ワンポイント

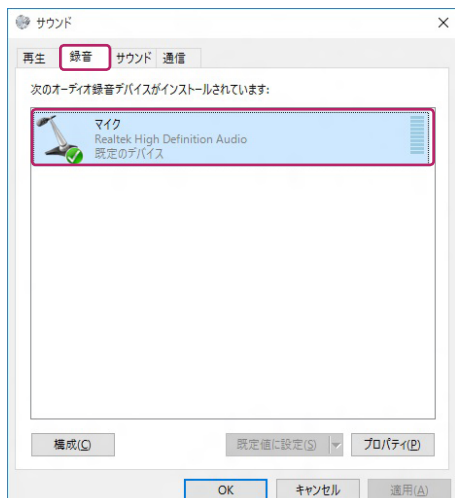
コントロールパネルの起動

デスクトップ画面で「Windows キー」+「X キー」を押すことで、画面左下にメニューが表示されます。コントロールパネルをクリックします。

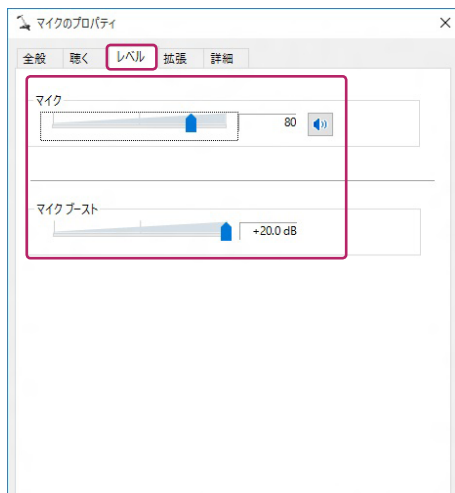
3. 「サウンド」をクリックします。



4. 「録音」をクリックし、「デジタルマイク」をダブルクリックします。



5. 「レベル」をクリックし、「音量」「マイクブースト」を設定します。



ワンポイント

マイクの録音ボリュームを最大にしても、入力音量が小さい場合、マイクブーストをかけることで改善します。

注意

ブースト値を上げすぎると、ハウリングやノイズの原因になります。

USB2.0

USB2.0 ポートは最大 480 Mbps の速度で様々なデバイスを接続します。プラグアンドプレイに対応しています。

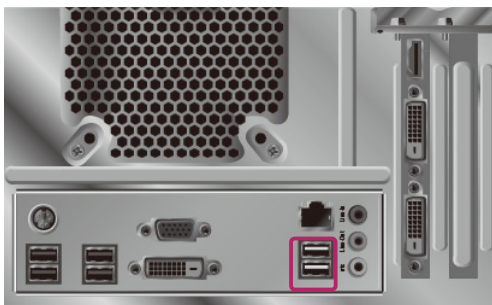


※注意※

接続する USB 機器によっては、別途 USB 機器に電源を接続する必要があります。

USB3.0

USB3.0 ポートは最大 5 Gbps の速度で様々なデバイスを接続します。プラグアンドプレイに対応しています。

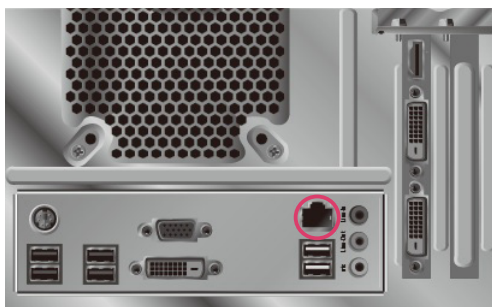


ネットワーク

本製品には 10/100/1000 Base-TX に対応した LAN コネクタが搭載されています。ご使用の環境にあった LAN ケーブルを接続することで ADSL や光接続などを利用した高速データ転送を行うことが可能です。

■ LAN（ローカルエリアネットワーク）

接続には UTP LAN ケーブル（一般家庭や通常のオフィス環境で使用されるケーブル）を使用してください。接続する際、コネクタから「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



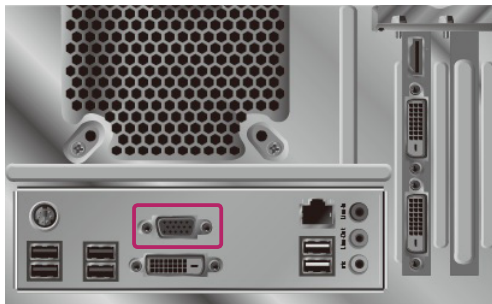
※注意※

ネットワーク（インターネットや社内 LAN）への接続の設定に関してはご契約のプロバイダ、または社内のネットワーク管理者にご相談ください。また、ネットワーク接続する際にはウィルスやスパイウェアの被害から守るためにセキュリティソフトの導入をご検討ください。

VGA

VGA ポートは、Mini D-Sub15 ピン規格に対応した外部ディスプレイを接続します。
最大解像度は 1920 x 1200 までの表示に対応しています。

※別途グラフィックスカード搭載モデルの場合は、拡張側になります。

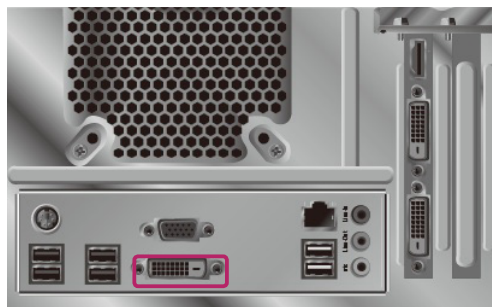


DVI

DVI ポートは、デュアルリンク DVI-D 規格に対応した外部ディスプレイを接続します。
最大解像度は 2560 x 1600 までの表示に対応しています。

※別途グラフィックスカード搭載モデルの場合は、拡張側になります。

※デュアルグラフィックス機能を使用する場合はこちらのポートに接続してください。



CHAPTER

3

BIOS 設定

1 ● BIOS 設定について	23
-----------------------	----

BIOS 設定について

本項目をご確認の上、必要な場合のみご使用環境に適した設定を行ってください。
BIOS 設定を間違えるとパソコンが起動しなくなる可能性があります。

BIOS とは、Basic Input Output System の略で、パソコンを動作させるためのプログラムです。この BIOS 設定を正しく行うことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本製品ではあらかじめ、最適の状態ですべての BIOS 設定がされています。ただし、使用環境によっては、BIOS の設定を変更する場合があります。

BIOS 設定画面の起動

1. 電源をオンにして、「Delete」キーを続けて打ちます。しばらくすると BIOS 設定画面が表示されます。



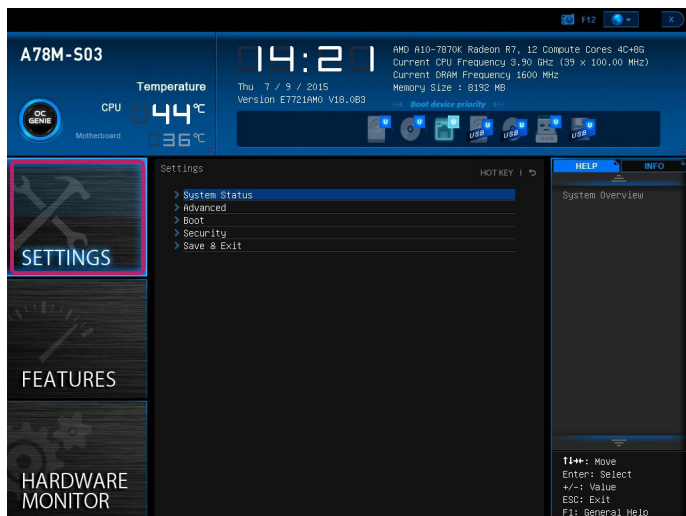
「Delete」キーを打つタイミングが遅れると、BIOS 設定画面が表示されません。表示されなかった場合は、一旦、「完全シャットダウン」を行い、再度、手順「1」の操作を行ってください。

BIOS 実行キー

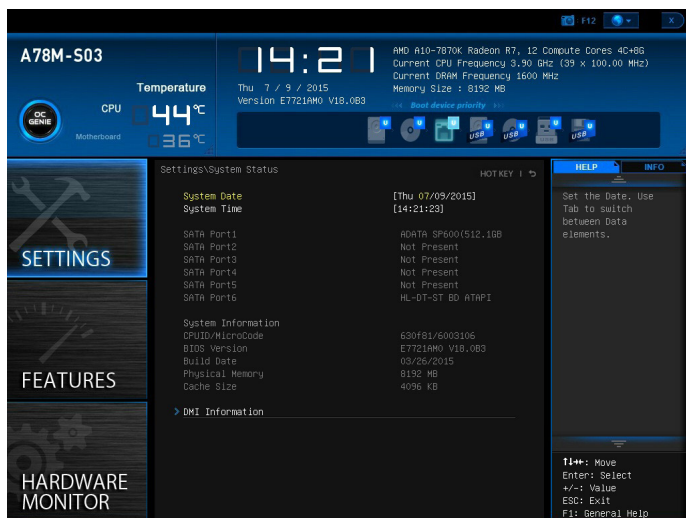
機能キー	指令	説明
ESC	終了	サブメニューを終了して、前のメニューに戻ります。または Exit 画面に移動する際にも使用します。
Enter	サブ画面へ移動	サブメニューを表示します。
F1	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
F4	CPU 情報表示	本体に搭載されている CPU の情報を表示します。
F5	Memory 情報表示	本体に搭載されている Memory の情報を表示します。
F6	デフォルト値読み込み	BIOS デフォルト設定を読み込みます。
F10	Save & Reset	現在の BIOS 設定を保存、リセットを行います。
F12	スクリーンショット	画面のスクリーンショットを取得します。
←→	領域の選択	前または次のメニューを選択します。
↑	項目の選択	次の上の項目を選択します。
↓	項目の選択	次の下の項目を選択します。
—	より低い値	領域に次の値を選択します。
+	より高い値	領域に次の値を選択します。

BIOS 設定の変更

BIOS 設定画面は、いくつかの項目に分かれています。各項目のメニューについて説明します。設定をするためには最初に「Setting」をクリックします。



System Status



システム情報を確認することができます。

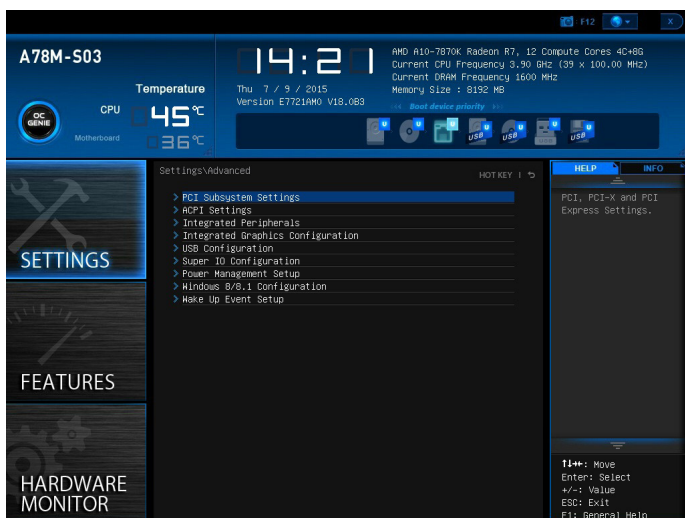
System Date:

MM/DD/YY(月/日/年)の形式で現在の日付を入力します。

System Time:

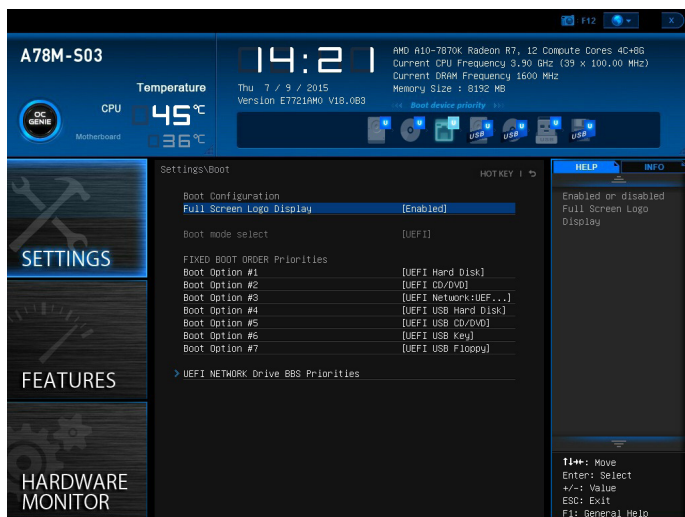
HH:MM:SS(時:分:秒)の形式で現在の時刻を入力します。

Advanced



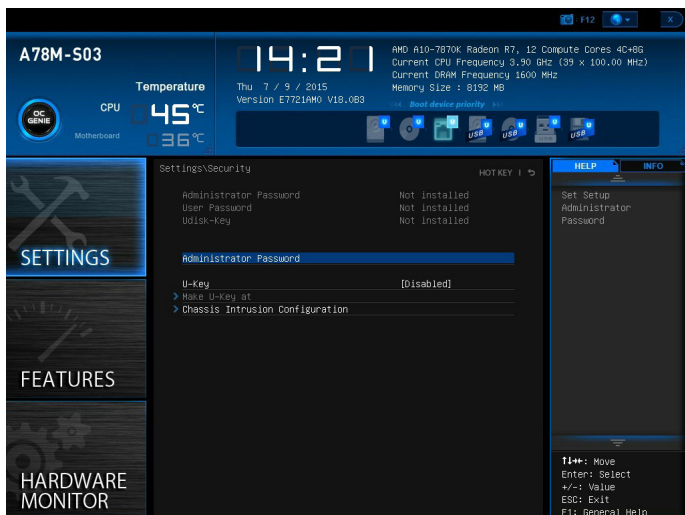
各種デバイス、動作に関する設定・変更を行います。通常は設定の必要がありません。

Boot



デバイスの起動順番等の設定をすることができます。

Security



Administrator Password:

BIOS 設定を行うためのパスワードを設定することが可能です。

※注意※

パスワードをお忘れになりますと、以後、BIOS 設定が不可能になります。その場合、弊社工場での初期設定（有償対応）が必要となります。必要時以外は設定を行わないことをお勧めいたします。

Save & Exit



Discard Changes and Exit:

BIOS 設定の変更を保存しません。

Restore Defaults:

BIOS 設定のデフォルト値を読み込みます。この項目に限らず、BIOS 画面全体において【F6】キーでこの操作を行うことも可能です。

Save Changes and Reboot:

BIOS 画面で設定した内容を保存します。保存の完了後に自動での再起動になります。変更内容は次のパソコン起動時に適用されます。すべての BIOS 設定画面上で、【F10】キーを押しても同様の操作が可能です。